



香美市文芸

【短歌】

岡崎 桜雲 選

怒りてはまた後悔しフォローする九十四才の夫は愛しも
 師走末に季節はずれのボンカンのたくさん熟れて甘き味わい
 立春を過ぎて寒波の襲来に八十路の身には春待ちこがるる
 鶯の破調で啼いてホーホケケ茶摘みの手元終日和む
 足を瘦せたる物がよろよろと過ぎて気づけり冬眠の蛙
 蓮華草香りの便り届けたし都会の居間に病後の友に
 廃屋に佇み偲ぶ遠き日のはしや戯る友等の姿
 洞の水に根を張る巨木苔生して悠久の郷を見守りている
 友逝きし空き家の庭に四季の花いま椿咲く在りし日の如く
 脳老化仕方なきかとテレビ消し庭に辛夷の花仰ぎ見る
 次の世も必ず共にと妻に告げ一足先に吾は逝きたし
 これしきの雨で憩ふな勤め人の気質残れる子に低く言ふ
 友よりの手作り御馳走届きたりがんばろうねと手紙を添へて
 時刻まぬ廃校の木蓮美しく寒き一日をしぐれ降りいる
 さみどりの中に野いちご見つけたり抱きつづける一途の思ひ
 吹く風は暖かなれど朝夕はまだまだ寒き三月の空
 当世のバレンタインのチョコレット渡せば主人酒がええとか
 ダム湖畔芽吹きて咲ける梅の花音なき里にわがこころ燃ゆ
 急降下に低空飛行ひよどりに乗っ取られたる峽の青空
 明けきらぬ街を部活へとペダルこぐ孫を見送る白き息して
 野菜畑見まわる朝に吾れよりも先に来ているヒヨ鳥一羽
 気が付けば輪の中のわれ最年長発言ひかへ思ひめぐらす

小原 子川
 小野寺朱実
 五百蔵利美
 森本 幸美
 岡村 敏子
 西野地 薫
 高田 稔
 岡本 初美
 盛岡 雛子
 坂上のぶ子
 都築 忠義
 大岸由起子
 小松 敏子
 楮佐古きよ
 山崎 貴子
 高田 清子
 公文 千恵
 谷内 務
 吉本 悦子
 古川 安子
 松中 賀代
 大石 綏子

硬き土割りて芽吹ける露のとう食しても旨し春がはじける
 わが指をこぼれてゆきしもの幾つおとうとの命つかみ得ざりし
 三山ひろしの歌碑を囲みしスナップもよき思い出の四万十の旅
 書の友の作りし文旦贈らるる安芸書展への意欲高まる
 梅香る社に集ひ体操す有明けの月仰ぎつつ帰る
 ひとひらの菜の花浮かべし味噌汁を目に楽しみおき「春をのみこむ
 散歩に誘へば行つてくれるかと問ひ返す九十二歳背筋伸ばして
 恐れゆく塩谷海岸眼の下に波に刳れし断崖あかし
 「ばあちゃん子供が来たらうれしいか」靴脱ぎながら八歳のあゆ
 それぞれの戸口に春の花を活け雛飾る町霰ふる日を
 柚子の種生まれかわりて化粧水に焼酎につけグリセリン入れて
 幸福度の調査用紙に丸つける今日の自分は九十点なり
 命日をひと日早めて参る墓所山の間に見える海光りおり
 四日前妻より携帯「早く来て」妻から最後の電話となりぬ
 雨降るをひそかに待ちぬ雨降れば会はむとて言ふ豌豆咲けり
 青空を透かせ見せつつおし寄せる羊の群れか流れゆく雲
 昨日わが好みて買ひしおやつ菓子日切れと書いてポイと捨てらる
 みどり児の囁き二つのご挨拶立春の来る首すはりしとふ
 鳥毛舞う奉納終えし若者の見事な練りに拍手のあらし
 大阪の妹に会い顔を見て元氣そうになにまずは安心
 餅切りを息子に頼み夕仕度ひとつ切ること子の息聞こゆ
 七十年戦捨てたる国にして花咲きみつる春の尊し

武内 弘子
 竹村 咲子
 林田 幸子
 門田 明子
 小松 禮子
 公文 正子
 都築 初代
 小松もとみ
 伊藤 清子
 佐竹 玲子
 森本眞理子
 古谷 由美
 佐々木真里
 宮地 亀好
 田村 光
 中澤 民江
 鍵山 春子
 町 耿子
 明石 敬恵
 吉川 恵
 秋 星
 岡崎 桜雲

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲
 載月の前月1日までに、ご応募ください。
 【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
 〒782-8501 (住所記載不要) FAX 53-5958

図書館だより

市立図書館

◆図書館に文部科学大臣賞

4月23日に開催された、平成29年度子ども読書の日記念『子ども読書活動推進フォーラム』で、香美市立図書館が子どもの読書活動優秀実践図書館として表彰されました。毎年開催している『子ども読書養成講座』などの活動が認められたの受賞となりました。

◆ほんのまくらフェア

著者が思いを込めて書いた『書き出し(まくら)』を頼りに、読者の直感で本を選ぶ少し変わったフェアを開催します。当たりか外れか、チャレンジしてみませんか? ※本は児童書です

【日程】5月12日まで開催中
 【場所】本館・各分館
 ◆読書通帳を配布します

図書館で借りた本を記入する読書通帳をご希望の方に配布しています。1冊あたり50冊分記入することができます。どんな本に出合ってきたかを記す貯金。ぜひ始めてみてください。

◆好きな本のこと語り合おう

ブック・クラブ
 読んで本について自由に語り合う会、ブック・クラブに参加してみませんか。仲間との語り合いを通して、読むことの楽しさを再発見しませんか。新しい学びの場を探している方ならどなたでも参加できます。一冊おすすめの本を持参して、ぜひご参加ください。

【日時】5月22日(月) 18時30分
 【場所】香美市役所2階会議室
 【主催】香美教育コラボレーション会議

【問い合わせ先】高知工科大学地域教育支援センター(教授・長崎政浩) 57-2103

◆移動図書館のお知らせ
 県立図書館の本を乗せて、移動図書館のバスがやります。詳しく日時は、巻末の市民カレンダーに掲載しています。

Pick Up

もんだい

井筒啓之 著
 「あなたはなぜあなたのですか?」パスカル、ソクラテス、カエサル、ダ・ヴィンチなど、世界の偉人がさまざまな「もんだい」を問いかける。



いちばん悲しい

まさきとしか 著
 大雨の夜、冴えない中年男が殺害された。彼の不幸な倫相手、残された妻など、誰もが自分の深層には思いもよらない秘密が。



がん消滅の罫

岩木一麻 著
 余命半年のがん患者が、生命保険の生前給付金を受け取ると、その直後、病巣が消え去ってしまう。連続して起きるがん消失は奇跡か、それとも…!



吉井勇記念館だより

風と水の郷 猪野々ウォーキング

吉井勇の歌碑がたつ香北町猪野々を巡るウォーキングを開催します。

若葉の季節、棚田の広がる風景を楽しみながら、猪野々の歴史スポットや吉井勇ゆかりの道などを巡ります。

勇の短歌をはじめ、彼が隠棲し癒やされた猪野々の魅力を感じられるイベントとなっております。

【日時】5月27日(土) 10時集合 ※雨天中止
 【定員】20人 ※要予約
 【参加費】1人2千円 ※昼食、記念館入館料含む

香美ミュージアムスタンプリ

香美市立美術館、やなせたかし記念館・詩とメルヘン絵本館、吉井勇記念館でスタンプリーを実施しています。

◆問い合わせ先 吉井勇記念館 ☎58・2220

【申込締切】5月18日(木)
 【行程】10時：記念館集合↓大久保(風の祠)ウォーキングスタート↓12時：猪野曾で昼食・休憩↓13時30分：記念館と溪鬼荘を見学、周辺を散策↓15時30分：解散
 【送迎】香美市役所本庁舎より、JR美良布駅経由の無料送迎バスあり(予約時にお申し付けください)
 行き 本庁舎9時20分発 美良布駅前9時40分発
 帰り 記念館15時30分発 美良布駅経由本庁舎

【期間】平成30年3月31日(土)まで
 【景品】オリジナルしおりとオリジナル下敷き、レタシートなど。